

第24回公安委員会定例会開催状況

1 開催日時

令和6年9月26日（木）13時30分～16時30分

2 決裁事項

(1) 免許の取消し等

警察本部から、免許の取消し事案及び欠格期間等の処分について報告を受け、決裁した。

(2) 苦情の受理

警察本部から、苦情の受理について報告を受け、決裁した。

(3) 苦情の調査結果

警察本部から、苦情の調査結果について報告を受け、決裁した。

(4) 公安委員会規則の一部改正

警察本部から、公安委員会規則の一部改正について報告を受け、決裁した。

(5) 警察職員の援助要求

警察本部から、警察職員の援助要求について報告を受け、決裁した。

3 報告事項

(1) 令和6年全国優良警察職員表彰受賞者の決定

警察本部から、

- 令和6年全国優良警察職員表彰（警察庁長官賞詞）について、本県では2人の受賞が決定した。
- 両名とも、長年にわたる多大な功労が評価されたもので、10月8日（火）、東京都千代田区のグランドアーク半蔵門において表彰式が行われる。
- 本年の受賞者は全国で131人、中国四国管区内では11人である。
- 本県の受賞者は、累計で85人である。

旨の報告を受けた。

委員が、

「本表彰が警察官の職務の励みとなるよう、今後も多くの受賞を目指していただきたい。

警察組織において、様々な表彰がある中、推薦基盤が整っていることは素晴らしいと思う。」

旨を発言した。

(2) 犯罪抑止総合対策推進状況（8月）

警察本部から、

- 令和6年8月末の刑法犯認知件数は6,145件と、前年同期比144件(2.4%)増加した。
「刑法犯の割合」は、窃盗犯が4,275件と、全体の約7割を占めており、窃盗犯のうち認知件数の多い順は、自転車盗、万引き、車上ねらい、空き巣、オートバイ盗となる。依然として無施錠・無締りでの被害が多いため、鍵掛けの広報を一層強化・推進し、更なる犯罪抑止に努めていく。
- 「特殊詐欺認知状況」は96件と、前年同期比27件減少、被害額は約2億200万円と、前年同期比約8,580万円減少した。8月中、副業名目や未納料金名目の架空料金請求詐欺を複数認知したことから、SNSや副業を勧めるバナー広告・ウェブサイトに関するチラシを活用し、注意喚起を実施していく。
- 「SNS型投資・ロマンス詐欺認知状況」は104件と、前年同期比87件増加、被害額は約13億9,610万円と、前年同期比約12億8,870万円増加した。SNS型投資・ロマンス詐欺については、更なる被害を防止するため、関係機関との連携を密にし、広報啓発活動を通じて積極的な情報発信を行うなど、被害状況に応じた効果的な広報を実施していく。

旨の報告を受けた。

委員が、

「投資熱が高まる中、金融機関の利用者に対して、正規の窓口で手続きを踏むよう広報をしていただきたい。

自転車の盗難被害が多発する商業施設において、施設関係者と協力し、鍵掛けについて集中的な注意喚起を実施していただきたい。」

旨を発言した。

(3) 令和6年全国地域安全運動の実施

警察本部から、

- 10月11日（金）から20日（日）までの10日間、全国地域安全運動が実施される。
- 本運動の目的は、地域安全に携わる機関・団体が、相互の連携を一層強化し、地域安全運動を強力に推進することにより、活動の更なる浸透・定着と安心して暮らせる地域社会の実現を図るものである。
- 本運動では、全国重点として「子供と女性の犯罪被害防止」、「特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺の被害防止」及び「自転車盗、万引きの被害防止」の3点、県独自の重点として「盗難被害防止に向けた「鍵掛け」広報の徹底」及び「持続可能な防犯ボランティア活動に向けた支援の推進」の2点を設定している。
- 警察本部では、県等と共同で、犯罪のない安全・安心まちづくり表彰式を開催するほか、県、県教育委員会、県防犯協会及び防犯ボランティア等と共に街頭啓発キャンペーンを実施するなどして、本運動の周知に向けた広報啓発を実施する。
- 各警察署においても、運動重点に即した各種取組を展開していく。

旨の報告を受けた。

委員が、

「防犯ボランティア活動は、県民の防犯意識の向上につながることから、持続できる
よう支援を推進していただきたい。

地域安全運動について、P D C Aサイクルを回し、次回実施時には、より効率的な
活動ができるようにしていただきたい。」

旨を発言した。

(4) 倉敷アブレイズ暴力団等排除対策協議会の設立及び選手研修会の開催

警察本部から、

○ 倉敷アブレイズは、今後、人気と知名度の上昇が予想される中、暴力団等の反社会
的勢力がチーム・選手に近寄り、ゲーム観戦料等を資金源にもくろむなどの不当要求
が懸念されることから、「暴力団等排除対策協議会」を設立し、健全なスポーツチーム
の運営等を図る。

○ 同協議会の発足式は、9月22日（日）午後1時から、倉敷アブレイズトレーニングセ
ンターにおいて開催し、その後、選手及びチームスタッフに対する研修会を実施した。

旨の報告を受けた。

委員が、

「スポーツ選手に限らず、県民に対しても、暴力団による不当要求の手口を周知させ、
被害防止に努めていただきたい。

ルールプレイングを通じて、暴力団による不当要求の手口を知ることは、被害防止
をする上で非常に効果的であると思う。」

旨を発言した。

(5) 行政訴訟事件の判決結果

警察本部から、行政訴訟事件の判決結果について報告を受けた。

(6) 解体予定の大型店舗を活用した機能別訓練の実施結果

警察本部から、解体予定の大型店舗を活用した機能別訓練の実施結果について報告を受け
た。

4 次回公安委員会

令和6年10月3日（木）13時00分から開催予定